いはねばり強く全国の仲間と

全国から殺到する激励電

全組織労働者の期待を双肩に

三池・労資決戦の関頭へ

闘争はいよいよ重大事態に突入した。誠意に誠意を重ねた組合の態度に対して、会社は冷酷な態度で終始し、組合の誠意を無情にも踏みにじり、あまつさえ組合の存在さえ無視した挙に出て来ている。これを許すならば組合の存在の意義さえなくなり、われわれが血と汗で築いてきた十余年の労苦は、一瞬にして灰じんに帰することは明白である。仂く仲間たちの〃三池を孤立させるな〃の声は全国にりよう原の火のように拡がり、未曽有の闘争態勢がガッチリと固められてきた。いまこそわれわれは、総力をあげて徹底的な闘いを起こし、会社の不遜な野望を粉砕しなければならない。

全国に拡がる支援態勢

会社の団交拒否、つづく中労委斡旋案拒否でいよいよ闘いは決戦段階に突入した。三鉱連全六山の統一闘争をつつんで炭労・総評が闘いをガッチリと力強い手で支えている。労働運動はじまつていらいといえる全労働者の結集がみられ、三鉱連の長期でねばり強い闘いに立上つたのである。さきにひらかれた総評臨時大会では、各単産百円カンパ、四月まで毎月五十円カンパが決定され、また全員千円の労金預金をきめたのである。総評では過去においても多くの闘いにたびたびカンパ決定を行つてきたが、多少とも実績のともなわない点もみられてきた。だが、こんどの闘争には総評の総力をかけてガッチリと取組んでおり、かつて見られなかつた結集が行われている。総評決定の線にそつて、各単産ではぞくぞくとカンパ、預金が実施され、三十億円の闘争資金が全国の仲間たちの力強い手に支えられて遂行されている。

一方、各組合、民主団体からは連日激励電報、手紙が組合本部には殺到しており、いま組合本部には所せましとばかり、この激励電報寄せ書きが貼りめぐらされている〃炭労を孤立させるな〃という総評のかけ声のもとに立上つた、全国の仲間たちの支援にこたえるためにも、われわれは、さらに団結を強化し統一を崩すことなく、敵のあくらつな野望を徹底的にたたかなければならないときである。

激励電報殺到

二十七日現在で組合には激励電報が百五十一通届けられている。炭鉱の仲間はいうにおよばず、化学の仲間も鉄鋼、国鉄、パルプ、官公労、学習サークル、民主団体などほとんどが網羅されている。数多い激励文、寄せ書きの中から二、三掲載すると……

○弾圧に負けるな、首切り合理化絶対反対、断固はね返せ、共に頑張ろう（東京都職員労働組合）

○三百人の活動家の首切り許すな炭労の勝利を祈り共に闘うことを誓う（全九電労本部）

○全日本労働階級の運命を担い、不動の団結をもつて最前線に闘う三池炭鉱労働組合に深甚なる敬意を表す。われら勝利を確信す（向坂逸郎）

○思想改革をもくろむ会社の野望粉砕のため最後の勝利までともに闘かおう（大夕張総決議大会）

○首切りをはね返し最後まで闘えわれら共に闘かわん（熊本電報局職場大会）

○弾圧をはね返し最後まで頑張れ（全逓鹿児島）

○最後まで勝利を確信して闘う支援を惜しまない（幌内学習サークル）

○十名の首切りは全労働者の首切りであることを確信した。共に闘うことを誓う。団結頑張ろう（三井芦別・茂尻青婦協交流会）

○果敢なる闘いに敬意を表し、健闘を祈る。われら共に闘う（雄別文学サークル）

○活動家を守れ（日本社会党岡山県連青年部）

○中山斡旋をけとばし勝利の日まで闘え（全金兵庫）

○解雇処分に屈せず闘え、われら闘い強めん（杵島選炭職場大会）

○前衛三池の火を消すな（鉄連富士、室蘭労組青年部）

○親愛なる三池の仲間、皆さんの闘いは、皆さんの生活を守るだけでなく、炭労二十万の人たちの生活を守るだけでなく、私たちの生活を守り、正しく貧しい日本の働く者の生活を守り、日本の良心を守り、人間の尊厳を守り、人間と人間との正しいあり方を守る闘いなのです。今私たちは東北を回つていますが、「馬五郎」で皆さんの闘いに参加しているつもりです（劇団新制作座一同）

一方、組合にはこのところ各単産からのオルグがぞくぞくとつづいている。二十七日までに、すでに三十七名のオルグが、各支部、地域へ入つてオルグ活動をつづけている。オルグの出身単組は炭労、全逓、教組、全電通、自治労、高教組、合化労連、国鉄などである。また、二十四日には杵島、大正、目島、国鉄門司地本からニュースカーがおしかけ、終日教宣活動を行つた。

カチューシャ
勝利の日まで共に
団結
池の火を消すな

私達で沢山です

苦痛を訴える元組合員

会社の甘い言葉につられて退職した者のたどる道は、苦しく悲しい道である。首切り反対闘争とともに、組合にも以前希望退職で辞め転々としていまでは小ヤマに働いているという仲間から切々と、会社の甘言に欺されずに、団結してさいごまで闘つてくれという訴えの手紙まで来ている状態である。自労大牟田分会で働く人たちの中で前職を調べてみると、三鉱で働いていたという人が断然多いのに目を見張る。

この人たちも、かつてはわれわれとスクラムを組み、ともに闘つて来た人である。一日、もと三鉱で働いていたという自労の組合員の人とあい、こんどの闘争について感想を聞いてみた。

誘惑にまけるな

道路作業の手を休めたMさんは、疲れた顔色で

炭鉱もおおごつになりましたな

首切り首切りと会社は、苦しくなるといつも使う手ですが、全くデタラメですよ。私もいぜんは炭鉱で働いていたのですが、会社が赤字でどうしてもやつていけないということで希望退職をやりました。私もちようどまとまつた金が必要でしたので、ついフラフラとなり誘惑に負けたのが終いでした。いま考えても、どうして希望退職などしたのかと思えば、くやし涙が出ます。

やつぱり労働者のことを親身になつて考えてくれるのは、広いこの世の中で労働組合だけですね。私もこのことが、つくづくさいきんになつてはつきり分かりました。

希望退職も大分出ているようですし、会社は首切りも断じてやるといつていますが、どんなに闘いが苦しくなつても、歯を喰いしばつて、組合とともに闘うようにいつて下さい。

私と同じく辞めて行つた人たちもたいてい自労で働いたり、よほどの運でもない限りは、よい目を見ていません。しつかり闘つて下さい、私からもくれぐれもお願いします。

首切りは会社の奥の手

また、同じくKさんは

首を切られたらもうみじめなものですよ。全くやりきれません。首を切られた人たちがこれ以上ふえたら、今の大牟田ではもうどうすることもできないですよ。こんどの闘争は会社もなかなか強気ですが、組合の方も、全国の労働者が支援しているので、さいごまで団結を崩さなかつたら、必ず組合が勝つと私たちは信じています。

闘いに弱気は禁物ですよ。会社はそれを狙つているのですからね。

首切りはいつも会社が使う手ですから、こんどは徹底的にやつつけて、二度とこんな馬鹿なまねはしないというほど、会社に思いしらすまで闘うことです。そうでないと、首切りはこんどで終りではなく、必ず何年か後にはまた、赤字だからといつてこりもせずに出してきます。当然これは分かつていることです。

生活でクタクタです

ご主人がもと三鉱につとめていて退職したという主婦もいる。つぎの当つたモンペをさすりさすりこの主婦はこう語つた。

毎日毎日食べることに心をつかい、一日でも休まる暇はありません。

こんな生活をまたつづける人がつづくのかと思いますと、ゲツソリします。

むずかしいことは私にはとてもわかりませんが、とにかく首を切られたらおしまいです。このことははつきりしています。みなさんで首切りをはね返すよう、みんながガッチリ手を組んで闘つて下さい。

「みいけ」の火は守られる

五十幾星霜
この土地は血肉を吸いとられ
この地の人々は膏血をしぼり取られた。
ここでは三井だけが人間で
おれたちは夢と人生を奪われた
奴隷であつた。
この土地に旗をあげ
おれたちは起ちあがつた。
かなしみも　いかりも　よろこびも
みんなで頒ちあつてたたかつてきた　十年
「みいけ」の歌はこの国の隅々でうたわれ
「みいけ」の旗はこの国の隅々ではためき
おれたちの闘いは鍛えられ
おれたちの力は畏れられ
おれたちのたつきは地につき
おれたちの明日は
やつと明るくなつたのに—。
失地回復の夢に憑かれた奴等には
〃仂くものの明日〃への起点
みいけの〃火〃がそんなに怖いのか
政府・権力を駆立てての　集中砲火だ。
だが、全組織労働者はしつている
明日のために
みいけの「火」は守られねばならないと。
総評三百万の愛の手が
炭労二十万の血の温味が
国の隅々から押寄せてくる　集つてくる。
おれたちの声が谺となつて返つてくる。
「みいけ」は全国労働者の手に繋がつている。
「みいけ」は「みいけ」だけじゃあない
〃みいけの火を消すな〃と叫ぶ
全国の仂くものの手で
十重二十重に守られている。
仲間よ!!
ダイナマイトに火をつけろ!!
いまこそ「みいけ」十年の
汗と涙の蓄積を爆発させて
奴等の野望を粉々に噴きとばせ!!
「みいけ」の火は働くものみんなの火

抗議や決起大会

炭労傘下各組合の闘い

安保改定を底辺とする炭鉱の合理化は三池、二瀬を頂点として、全炭鉱に強行されているが、炭労傘下の闘争状況は、つぎの通りである。

肩叩きに警戒

三菱資本は方城、上山田鉱縮少に伴う九州金山よりの勇退募集を提案してきたが、菱炭連は炭労中闘指令にもとずき精力的に団交を行つてきたが、十一月二十日会社は一方的に希望退職募集を強行してきた。

これに対し中闘は二十日一番方から二十四時間ストを指令するとともに、菱炭連とともに、各山にオルグを派遣して会社の肩叩き阻止の活動を行い、闘争態勢強化の確立をはかつている。

◈**方城労組**

五五〇名の人員縮減を提案されている。

組合では十一月二十日臨時大会をひらき、会社の肩叩きに対しては大衆抗議を行いはね返すことを決定した。

一方、会社では二十一日希望退職の指示を出すと共に、退職金試算表を個人宛に郵送したり、傍系会社の就職斡旋などでPRを行つており、社宅内では区長を中心として肩叩きの準備をしている。組合では相談所を設けて問題をかかえている組合員とじつくり相談したり、会社の肩叩きに対しては監視班を編成して社宅を巡回している。

◈**崎戸労組**

十一月十九日東峰居住区分会では横井区長に対する抗議集会を開いた。

問題は横井区長が今まで再三にわたつて肩叩きをするなという誓約を無視して、組合員を呼びつけて辞めるよう働きかけたことにある。抗議集会には組合員・家族が百名以上集り、区長の不誠意な態度に抗議した。

結局、横井区長が労働課長代理に「辞めさせてくれ」と頼む一幕もあり、最終的には会社・組合の団交に移すことになつた。

二十日の二十四時間ストには各坑区ごとに決起大会をひらき、闘いの決意を固めている。

◈**古賀山労組**

社宅常会などをひらき教宣活動を強めているが、十一月二十一日会社が新聞折込みで退職手当の基準表や、傍系会社への就職斡旋のPRを行つたのに対し、組合の方でその新聞折込みを全部回収し、抗議集会をひらいて会社に一括返上した。

首切り賃下げ提案

山口鉱山（小城・別府）では柳川鉱区（住友との調印）問題で行きづまり。さきに譲渡された三菱鉱区の代金三・八〇〇万円の銀行からの融資が困難になり、予定していた開発が不可能になつたということで、人員整理と労働条件切下げにより自己資金を捻出し、銀行の協力を得て新坑開発にのりだそうという企みで、十一月十七日三カ年計画で首切りと賃下げを提案してきた。

九炭労では、大手の企反闘争の基本方針に従い闘いをすすめている

二瀬の闘い

日鉄二瀬では指名解雇に反対して十月十四日以降毎週七十二時間一齊ストを行つている。

こん回の三鉱連戦術転換にともなう戦術については、激しい闘いをつづけている現地の意向を十分に尊重して、こんどの戦術についてはあらためて戦術委員会が指令することになつている。

指名解雇で会社挑戦

雄別労連では実力行使を背景に十一月二十三日から団交を行い、会社側の一方的勇退募集の即時中止と、企業整備案の撤回を求めたが会社側は、該当者の強制勇退勧告および、優先指名解雇の決意を有するむねその態度を明らかにしてきた。

三カ月ぶり団交

長期に闘う主婦と生活労組

安保改定阻止、炭労闘争を軸とした秋季、年末闘争が最大段階を迎えつつあるとき、長期ストをつづける中小企業争議団も迫りくる冬を間近かに、ともに勝利をおさめようと共闘態勢をかためて決戦への構えを見せはじめた。中小企業の闘争は、人権問題もさることながら、日経連のあと押しですすめられる企業合理化との闘いが主なものである。こうした中で「主婦と生活労組」の闘いは、もう二百七十日がすぎた。長くはげしい闘いだ。

十一月十四日、八月いらい三カ月ぶりに団交がはじまつた。

現在、会社側から毎週一回組合員

り、会員二万余名が組織されている。

連帯ストも決議

十一月二十七日の安保阻止のゼネストを前に、全印総連東京地連では、今夏、長野大会で決議されたスト権の批准を促進するため、さらに炭労、全逓、地連傘下の諸闘争を勝ち抜く態勢を強化するため話合つたが、この時点で主婦と生活労組のために連帯ストをふくむ強力な闘争態勢を組むべきであるという問題提起などもあり、会議は成功裡に終つている。

また、全印総連第七回青婦部大会で、これまでの定期カンパいがいに、独自に十円カンパを行うことと